

授業科目 相談援助実習Ⅰ

| | | | | | | | |
|--|--|----------|--|-------|------------|----------------------|--|
| 【担当教員名】 武井 恒美 | | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 社会 | | |
| | | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 必修 | | |
| | | 単位数 | 1 | 時間数 | 45 | | |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | | | |
| ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 【概要・一般目標：GI0】 社会福祉士としての、専門技術（社会福祉固有の援助方法・技術）、専門知識（歴史、倫理、知識、各種社会福祉制度、隣接学問に関する知識）、福祉倫理（価値観や思想、人権擁護、守秘義務）の基礎を身につける。事前学習では、主に専門知識や技術、福祉倫理の基礎を修得する。その後の体験実習では、事前学習で得た知識に基づき、社会福祉分野の現場の状況、諸機関・施設で働く職員役割等を体験的に理解する。 | | | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 1. 社会福祉各分野の機関・施設について、その設置趣旨・目的・事業内容・利用者の実態等を述べるができる。 2. 配属実習の前段として、見学実習をとおして社会福祉各分野の現状と課題を説明することができる。 3. 社会福祉機関・施設等で働く社会福祉士（ソーシャルワーカー）の基本的業務・役割を列挙することができる。 4. 社会福祉士実習生として社会福祉現場について関心を持ち、積極的に見学実習に参加することができる。 | | | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 | |
| 1 | 本学の実習体制について：オリエンテーション | | | | 4 | 講義 | |
| 2 | 老人福祉の分野：介護施設の現状について | | | | 123 | 同上 | |
| 3 | 児童福祉の分野：児童福祉サービスの体系、現状と課題 | | | | 123 | 同上 | |
| 4 | 医療の分野：医療ソーシャルワーカーの仕事 | | | | 123 | 同上 | |
| 5 | 障害者福祉の分野：障害者福祉サービスの体系、現状と課題 | | | | 123 | 同上 | |
| 6 | 社会福祉の行政機関：社会福祉行政機関の概要、現状と課題 | | | | 123 | 同上 | |
| 7 | 見学実習施設に関する理解 1：新潟ふれ愛プラザ | | | | 1234 | グループワーク | |
| 8 | 見学実習施設に関する理解 2：コロニーにいがた白岩の里 | | | | 1234 | 同上 | |
| 9 | 見学実習施設に関する理解 3：新潟県中央福祉相談センター，若草寮，新潟学園 | | | | 1234 | 同上 | |
| 10 | 見学実習施設に関する理解 4：豊浦愛宕の園，松風園，向陽の里 | | | | 1234 | 同上 | |
| 11 | 見学実習施設に関する理解 5：新潟みずほ園，第2みずほ園，松渦の園，あさひ園，施設見学準備オリエンテーション | | | | 1234 | 同上 | |
| 12 | 各班ごとに様々な分野の施設見学を行う。 | | | | 1234 | 学外実習 | |
| 13 | 同上 | | | | 1234 | 同上 | |
| 14 | 同上 | | | | 1234 | 同上 | |
| 15 | 同上 | | | | 1234 | 同上 | |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> | | |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | 使用しない | | | | | |
| 参考書 | | 授業中に指示する | | | | | |
| その他の資料 | | 適宜配布する | | | | | |
| 【評価方法】 出席状況、レポート、参加態度等により総合的に評価する。 | | | 【履修上の留意点】 この科目は相談援助実習Ⅱ(2年次)・Ⅲ(3年次)の基礎になるものであり、1年次に履修し単位を修得しておかなければならない。事前学習の予定については、前期の初めに提示するのでよく確認し、遅刻欠席のないようにすること。特に、見学実習を遅刻・欠席した場合は、単位を与えないこともあるので十分注意すること。やむを得ず遅刻・欠席せざるを得ない場合は、必ず事前に連絡をすること。 | | | | |